



みなみながさき

豊島区立南長崎幼稚園
園長 見米 葉記

生活のすべてから始まる幼児期の学び

園長 見米 葉記

新しい年が始まりました。保護者の皆様には、日頃より本園の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、昨年行われてきた本園の様々な行事や取組の中で、さくら組・たんぽぽ組の子どもたちはそれぞれに積極的にかかわり、自分のことをたくさん成長させることができました。幼稚園での遊びや生活の中で楽しかった体験活動を通じ、興味のあるものや関心の高かったことが子どもたちの中で継続させていきたいという気持ちや表現したいという気持ちに変わり、創作意欲へとつながっていきます。幼児期は、文字や数字を覚えること以上に、「遊び」や「生活」そのものが学びとなる大切な時期です。

友だちと関わりながら遊ぶ中で、思いが通らなかったり、うまくいかなかったりする経験を重ねることで、子どもたちは自分の気持ちを調整したり、相手を思いやったりする力を身に付けていきます。

また、挑戦して失敗すること、工夫してできるようになることなど、一つ一つの体験が心と体の成長につながっています。こうした経験の積み重ねが、小学校以降の学びの土台となる「考える力」「やり抜く力」「人と関わる力」を育てていきます。

1月は、進級や就学を意識し始める時期でもあります。私たちは、子どもたち一人一人の育ちを大切にしながら、安心して自分らしく過ごせる環境を整えてまいります。ご家庭におかれましても、結果を急がず、日々の小さな成長を温かく見守っていただければ幸いです。

本年も、園と家庭、そして地域の協力もいただきながら子どもたちを支えていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

1月の指導のねらい

- 4歳児
- ・学級の友達と同じイメージをもち、一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・冬の生活に必要なことがわかり、自分で行おうとする。

- 5歳児
- ・かるたやトランプなどの遊びを楽しみ、数への関心を持つ。
 - ・友達と考えやイメージを伝え合いながら、学級のみんなで劇をつくっていく楽しさを味わう。